



GFSI CONFERENCE

エグゼクティブサマリー

29th-31st
MARCH 2022

BARCELONA
SPAIN

conference.mygfsi.com

#gfsi22



目次

数字で見るGFSI Conference	3
はじめに	4
Day 1	5
オープニング: GFSI とあなた	6
食品安全はみんなの仕事	9
ワールドカフェ: GFSIローカルグループへのスポットライト	12
Day 2	15
GFSIの戦略的優先事項	16
食品安全エコシステムにおけるイノベーション	19
Day 3	21
食品安全とサステナビリティの垣根を取り払う	22
食品安全の周り、未来への展望	24
他のセッション	26
分科会	27
スペシャルセッション	27
Tech Talks & GFSIに訊く	28
ネットワーキングの機会	28
フォトギャラリー	29
パートナー	32
ソーシャルメディア	35



数字で見るGFSI Conference



はじめに

COVID-19のパンデミックにより2年間離れていた世界の食品安全コミュニティは、バルセロナで開催された2022 GFSIカンファレンスで喜びの再会を祝いました。

このイベントでは、食品業界、各国の規制機関、政府間組織、学界、認証プログラムオーナー、認証機関、安全な食品供給の維持に関わるその他のステークホルダーから600名を超える代表者が、地中海に面した古い港町を訪れました。

プログラムは「安全で持続可能な食の実現にむけてインパクトを与える」というテーマを中心に、CGFの行動連合としてのGFSIのステータスに沿って、持続可能性へのコミットメントを強調しました。

登壇者は、国連の持続可能な開発目標、特にSDGs 1（貧困ゼロ）、2（飢餓ゼロ）、6（きれいな水と衛生）、12（責任ある消費と生産）の達成におけるGFSIの役割と、それらがSDGs 17（目標のためのパートナーシップ）に支えられたものであることを確認しました。国連機関からは、世界保健機関（WHO）、世界食糧計画（WFP）、食糧農業機関（FAO）、コーデックス委員会（CODEX）の食品安全のリーダーたちが参加し、登壇者リストの中でも強い存在感を示していました。

登壇者と参加者は、現在進行中の健康危機と人道的危機のさなか、時間を割いて会議に参加することで、セクターを超えたコラボレーションが解決策を見出し、変化を促進する力を持つという信念を示したのです。ステージ上やその他の場所で交わされた会話は、これらの危機から逃げることなく、世界で最も弱い立場にある人々に奉仕し、保護するという食品業界の責任を強調するものでした。

一方、GFSI Conferenceの特徴である楽観的な感覚は、特に食品業界の未来を考えるセッションにおいて、そのまま維持されました。登壇者や出展者は、監査や検査へのスマートなアプローチ、

バーチャル・リアリティのトレーニング・モジュール、パンデミック時の食料品eコマース、規制当局が買い物中に消費者に食品安全リスクを警告する革新的技術主導のソリューションなど、テクノロジーの採用が加速していることに光明を見いだしていました。また、学際的な宇宙研究者、科学者、かつ芸術家である特別基調講演者のAngelo Vermeulen氏は、さらに将来を見据えて、火星での食糧栽培の可能性を検討していると語っていました。

GFSIが自らの将来を計画する中で、私たちはRace to the Topを加速させ、戦略的優先事項をさらに進め、安全で栄養価が高く、持続可能な食品へのアクセスを世界中のすべてのコミュニティに広げていくことを期待しています。GFSIは、グローバル・マーケット・プログラムのパブリック・コンサルテーションの成果の発表とともに、食品事業者の食品安全能力の強化を支援するために、様々なステークホルダーを調整するリーダーとしての役割を担う意向を表明しています。

2023年、米国で開催されるGFSIに参加し、食品安全をみんなの仕事にし続けることに、ぜひ力を貸してください。



1日目
3月29日



オープニング: GFSIとあなた

「生活を一変させたパンデミックの後、GFSIが私たちを集めて、面と向かって握手し、マスクの裏側で微笑み、ズームではないイベントを開催できたという事実を、私はまだ信じられないでいます。」

と、2年ぶりにGFSIのステージの明るい光の下に立ったGFSIディレクターのエリカ・シェワード氏は言いました。彼女は、COVID-19のパンデミックによる2年間の人的被害に言及しながらも再会を喜び、脆弱なコミュニティに奉仕する食品業界の責任を強調することで、最初の全体会議への流れを作りました。

CGFディレクターのワイチャン・チャン氏は自身のスピーチで、この責任を果たすための具体的な方法について述べ、世界中で食品安全能力を構築するGFSIの活動が、将来の供給不足の深刻さを軽減する可能性があることを指摘しました。また、「人道的危機について考えるとき、最も必要なものは食糧と水であり、私たちはそれを生産しています。私たちは、メンバーの仕事の独特な特性ゆえに、それに影響を与えることができるユニークな立場にある」と述べました。そして、CEOたちが率先して、自分たちにできる支援について率先して話し合っていることを称賛しました。

A woman with short dark hair, wearing a white long-sleeved shirt with black stripes on the sleeves and light-colored trousers, stands at a clear acrylic podium with two microphones. She is speaking and gesturing with her hands. The background is a bright blue stage with a large screen showing abstract orange and red patterns.

Erica Sheward GFSI, The Consumer Goods Forum

A man with short dark hair and glasses, wearing a dark suit jacket over a white shirt, is seated in a white armchair. He is gesturing with both hands while speaking. To his left, the back of a woman's head and shoulders are visible as she sits in another white armchair. The background is a bright blue stage with a large screen showing abstract orange and red patterns.

Wai-Chan Chan The Consumer Goods Forum

その一人、モンデリーズ・インターナショナルのダーク・ヴァン・デ・プットCEOは、事前に録画したビデオで参加しました。彼は、企業が食糧供給を守るために努力する一方で、気候変動に対処する必要性を強調しました。

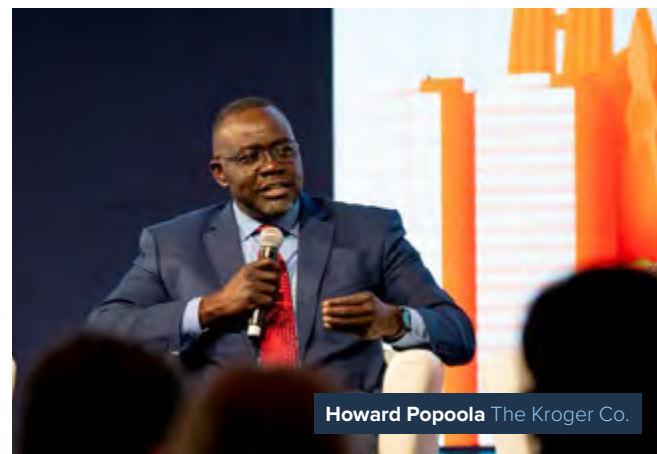
「社会において、人々の健康と安全を追求することほど良い政策はない。」

と、環境保護活動家であり消費者運動家でもあるラルフ・ネーダー氏の言葉を引用して、締めくくりました。

セッションでは引き続き、次のGFSIステアリングコミッティ共同議長およびメンバー計4名によるパネルディスカッションが行われました。

FoodsafERM ロイ・カービー氏
クローガー ハワード・ポポラ氏
ダノン モニーク・ペレグリーノ氏
スターバックス・コーヒー トム・ウィスター氏

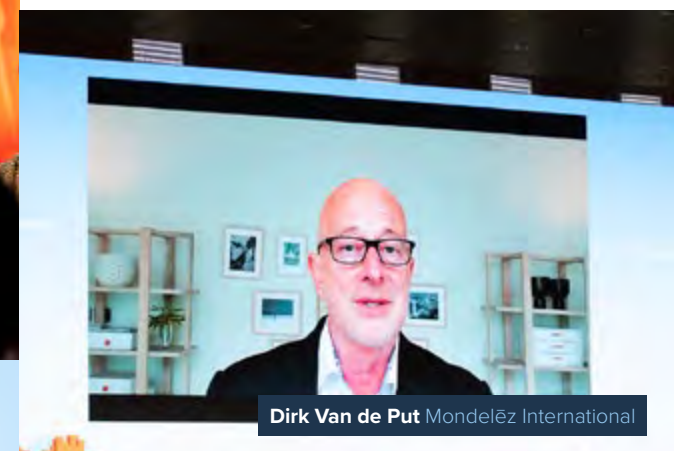
これらの食品安全のリーダーは、GFSIが最近採用したガバナンス・ルールの規定に従い、ステコミに昨年選出されました。パネルではRace to the Top、新しい倫理規定、政府間機関との提携の重視など、食品安全の今後の方向



Howard Popoola The Kroger Co.



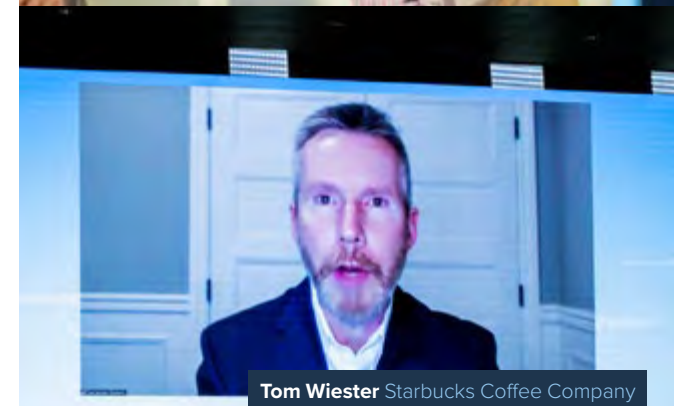
Monique Pellegrino Danone



Dirk Van de Put Mondelez International



Roy Kirby FoodsafERM



Tom Wiester Starbucks Coffee Company

性を示すリーダーとしての役割を強化するためのGFSIの最近の取り組みが共有されました。「これは、私たちが懸命に戦って勝ち取った組織への信頼を、確実に維持していくための仕組みを構築しようとしているということです。信頼を維持するために、我々皆さんに懸命に戦わなければなりません。」とステコミ共同議長のロイ・カービー氏は述べました。

続いて、国連機関や組織の代表者4名がバーチャルで登壇し、前のパネルで指摘された官民パートナーシップのポイントを確認しました。

WHOのフランチェスコ・ブランカ博士、FAOのキャサリン・ベッシー氏、CODEXのスティーブ・ウェアン氏、WFPのバージニア・シーベンロック氏は、国連の持続可能な開発目標の達成に食品安全が重要な役割を果たすことに同意し、これらの目標達成に向けてGFSIとさらに協力することに期待を示しました。スティーブ・ウェアン氏は、CODEXとGFSIを特に「ナチュラル・パートナー」と呼び、「私たちが一緒にできることはたくさんあるので、より幅広い協力の可能性にコミットしてほしい」と両組織に要望しました。

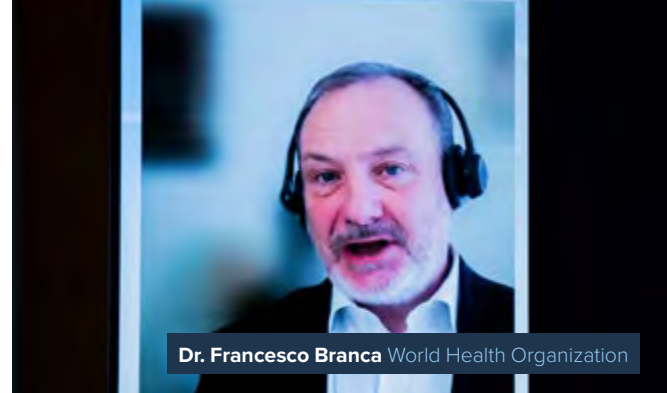
重要ポイント



- 1 食品産業は、人道的危機に見舞われた人々を支援するユニークな立場にあり、その責任を負っています。
- 2 GFSIは、ガバナンス・ルールや倫理規定、Race to the Topの各要素を通して、ステークホルダーの信頼を維持・向上させるための取り組みを行っています。
- 3 GFSIは、データ共有、能力開発、その他の官民連携を通して、企業が政府間組織の活動を手助けできるよう支援します。



Day 1



Dr. Francesco Branca World Health Organization



Catherine Bessy Food and Agriculture Organization



Steve Wearne Codex Alimentarius Commission



Virginia Siebenrok World Food Programme

食品安全は みんなの仕事

午前の録音メッセージの後、モンデリーズ・インターナショナルCEOのダーク・ヴァン・デ・プット氏がライブビデオで午後のセッションに参加しました。そして、世界食糧計画（WFP）のアミール・マハムード・アブドゥラ事務局次長と対談を行いました。

世界最大の食品多国籍企業と世界最大の食糧援助団体をそれぞれ代表する2人のリーダーは、国連のSDGs、特に目標2「飢餓ゼロ」の達成における官民連携の役割に焦点を当て、GFSIと世界食糧計画のコラボレーションを表明しました。アミール・マフムード・アブドゥラ氏は、「私たちは、自分たちだけではできないことを承知しています。このGFSIのグループの中にある知識や専門性が必要なのです。」と語りました。

ダーク・ヴァン・デ・プット氏は、この分野での具体的な目標をひとつ挙げました。それは、GFSIと国連機関が「異なる管轄区域の事業者のための食品安全文化のための新しい能力構築フレームワークを共同作成し、これらの食品事業者のより多くがCodex規格を理解し適用できるようにすること」です。

GFSIシニア・プロジェクト・マネージャーのアン・ジェラルディ氏、WHOのルズ・マリア・デ・レジル博士、FAOのマーカス・リップ博士、WFPのバージニア・シーベンロック氏、そしてCODEXのトム・ハイラント氏によるパネルディスカッションでも官民協力というテーマは継続されました。登壇者たちは、食品安全をめぐる2つのセクターを結びつけることの難しさ、特に能力向上のために必要な初期投資が困難と思われる場合について、率直に意見を述べました。

それでも彼らは、政府-業界間会合や消費者の信頼を強化する能力など、GFSIにおける行政連携の将来的な可能性に期待を示しました。

「食品産業にとって信頼は特に重要です。なぜなら食品は”私たちの心理、文化の一部であり、私たちの一部となる”からです。」とマーカス・リップ博士は述べました。彼は、消費者とコミュニケーションをとり、信頼の雰囲気を作り出すためのツールや共通の言葉を構築するよう、官民両部門に呼びかけました。

「一般的に、私たちは食品の安全性について科学の観点から語り、それは不可欠なものです。人々の心と魂を納得させるものではありません」と述べました。

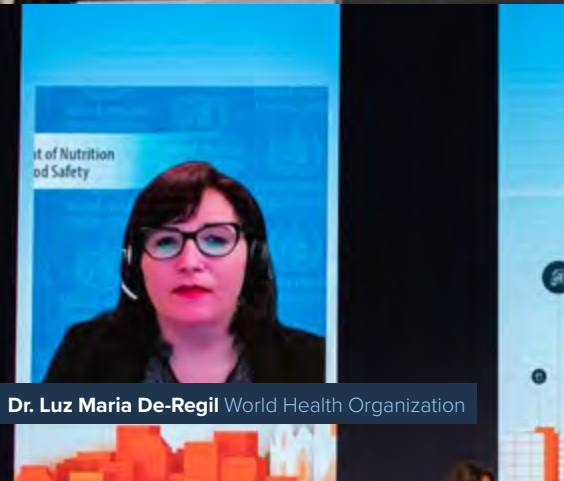
バージニア・シーベンロック氏は、GFSIと政府間機関が提携し、能力の低い管轄区域で食品安全の価値提案を行うことが可能であると提案しました。WFPはサプライヤーに「最低限の基準、例えばGFSI」に準拠するよう求めていると彼女は言いました。「それに投資することで、彼らは私たちに供給できるようになり、また、私たちが同じ規格を利用しているため、他の機関にも供給できるようになります。つまり、彼らにとっては新しいビジネスチャンスへの扉を開くことになるのです。」



Anne Gerardi GFSI, The Consumer Goods Forum



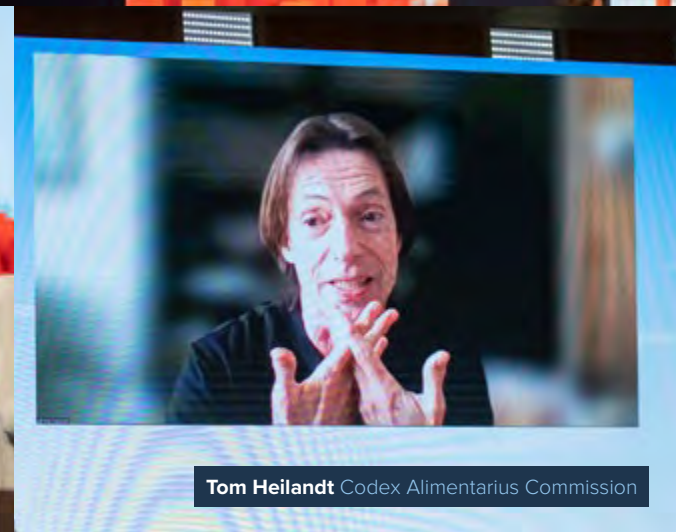
Dr. Markus Lipp Food and Agriculture Organization



Dr. Luz Maria De-Regil World Health Organization



Virginia Siebenrok World Food Programme



Tom Heilant Codex Alimentarius Commission

GFSIディレクターのエリカ・シェワード氏とステアリング・コミッティ共同議長のロイ・カービー氏は、SDGsの主要項目である1（貧困ゼロ）、2（飢餓ゼロ）、6（清潔な水と衛生）、12（責任ある消費と生産）を中心に、6月7日の第4回世界食品安全デーへの参加を呼びかけて、セッションを締めくくりました。エリカ・シェワード氏は、SDGsへのコミットメントを行い、会議後のアンケートを通じてそのコミットメントを共有するよう参加者に呼びかけました。

「もし、あなたがコミットメントを行い、口にするだけでなく実際に行動することをサポートするために、私たちにできることがあればぜひ教えてください。」

重要ポイント



- 1 GFSIは、国連のSDGs、特に1：貧困ゼロ、2：飢餓ゼロ、6：清潔な水と衛生、12：責任ある消費と生産、をSDGs17（目標のためのパートナーシップ）によって推進していくことにコミットします。
- 2 グローバルマーケットプログラムは、世界中の地域でコーデックス規格をよりよく普及させることができる、食品安全文化のための新しい能力構築フレームワークに形を変える予定です。これは来年発表される予定です。
- 3 すべてのステークホルダーは、6月7日の「世界食品安全の日」を記念して、安全で持続可能な食品へのコミットメントを示しましょう。



Erica Sheward GFSI, The Consumer Goods Forum

Roy Kirby FoodsafERM

Day 1

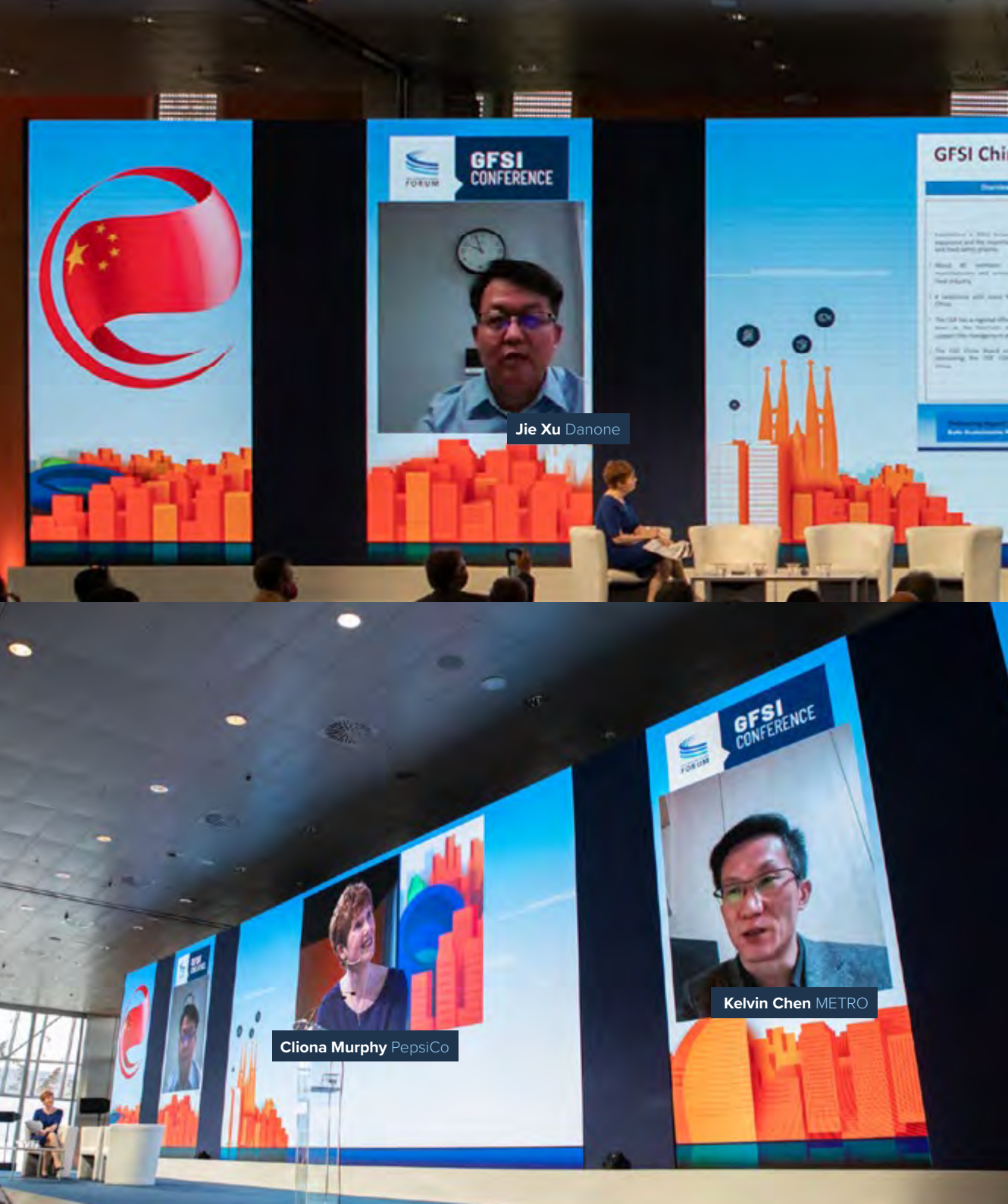


ワールドカフェ： GFSIローカルグループ へのスポットライト

司会のイザベル・クマールは、この日の最後の全体会議を「地球を巡る各駅停車ツアー」、「世界の食品産業のテイスティングメニューのようなもの」と紹介しました。どちらの比喻も、7つのGFSIローカル・グループそれぞれの本拠地における食品安全の課題と機会を垣間見ることができるこのセッションにぴったりでした。

GFSIステアリングコミッティのメンバーであるペプシコのグローバル品質保証担当副社長クリオナ・マーフィー氏の司会で始まったツアーはアジアから始まり、中国ローカルグループ運営委員会の共同議長であるMETROとWumart Techのケルヴィン・チェン氏と、副議長であるダノンのジー・シュー氏が登場しました。中国では業界の発展が早く、グループも歩調を合わせて進化しており、ジー・シューはこのペースがグローバルな組織に利益をもたらすと述べました。

「中国は、皆さんから学ぶだけでなく、皆さんのために知識と一緒に構築することに貢献したい。」



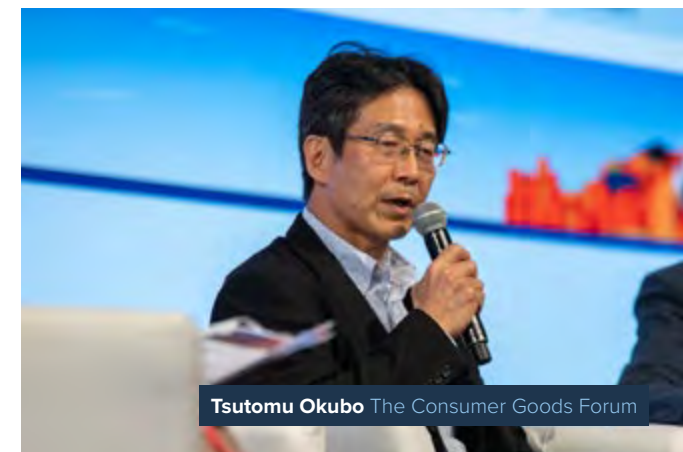
次は引き続きアジアの日本ローカルグループです。GFSIシニア・マネージャーの大久保力氏と、GFSIステアリングコミティのメンバーであるイオンアドバイザーの宮城島一明氏が代表として登壇しました。日本では、食料を輸入に頼っていることもあり、GFSIの存在感は大きく、政府からも支持されています。「この国の食の安全は、グローバルなレベルで支えられて初めて成り立つ、という認識が共有されています」と宮城島一明氏は語りました。

ラテンアメリカには、メキシコと南ラテンアメリカという2つのローカルグループがあり、異種産業が混在する広大な地域で食品安全の実現に取り組んでいます。両グループについて議論するため、CGFラテンアメリカチームのエスター・ディアス氏とエリカ・ロドリゲス氏は、BRFブラジルの南ラテンアメリカローカルグループ共同議長であるBRFブラジルのホセ・ロベルト・ゴンカルヴェス氏と一緒に登壇しました。課題はあるものの、ゴンカルヴェス氏はGFSIのもたらす影響について楽観的な見方を示しました。

GFSIテクニカル・コンサルタントのフランシス・フリーマン氏は、オーストラリア／ニュージーランド・ローカル・グループを代表し、新旧のメンバーで「組織を再構築している段階」と述べていました。オーストラリア／ニュージーランド・グループは、グローバルな優先事項の現地での実施に加え、現地サプライヤーの能力構築や、気候関連の災害が農業部門に与える影響への対処に取り組んでいます。

米国・カナダのローカルグループが強調したように、能力開発は新興市場だけの問題ではありません。「私たちのメンバーの多くは、食品安全文化が本来あるべき姿に達していない食品事業者にはまだ大きな機会があることを認識しています」と、同グループの技術アドバイザーでカナダ食品検査庁の元規制官であるマーク・バーガム氏は述べました。彼とLoblaw Companies Limitedのアンドリュー・クラーク氏は、この地域で、特に小売業者の間でGFSIを推進する機会について話しました。

「この組織が与える信頼によって、輸出企業は顧客に対して開かれた市場を持つことができるのです」



Tsutomu Okubo The Consumer Goods Forum



Kazuaki Miyagishima AEON



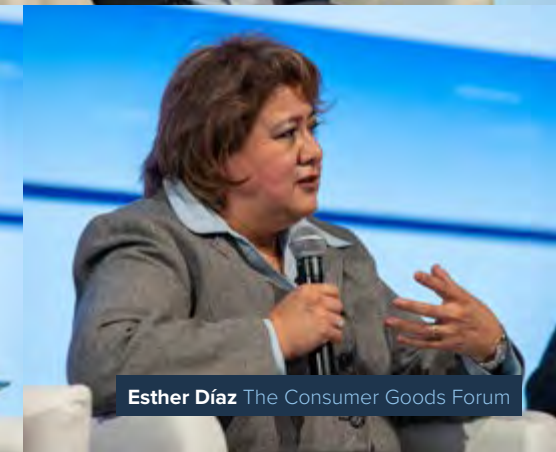
Frances Freeman Technical Consultant



José Roberto Gonçalves BRF Brazil



Erika Rodríguez The Consumer Goods Forum



Esther Díaz The Consumer Goods Forum

以前はヨーロッパ・ローカルグループと呼ばれていたヨーロッパ・中東・アフリカ（EMEA）ローカルグループは、食品安全コンサルタントのアレック・キリアキデス氏（元セインズベリー社）、ペプシコ社のリンゼイ・ヘイ氏、アマゾン社のキャロライン・イースターブルック氏が代表として登壇しました。彼らは皆英国を拠点としていますが、130カ国からなる地域の名を冠することの野心的な意義を認めていました。

リンゼイ・ヘイ氏は、「ローカル・グループにおいて、あなたの国や地域の真の特徴と優先順位を知りたいのであれば、ローカル・グループ内で発言し、席に着いてもらう必要があります」と述べています。「求められるのを待つのではなく、自分から進んで参加してください。」

重要ポイント



- 1 世界中の食品事業者は、それぞれの国の現実を目の前にしていますが、能力構築やサプライチェーンの問題に関しては、同じような懸念を抱えています。
- 2 食品安全の能力構築は、新興国だけの問題ではありません。先進国の中小企業も、能力を構築して世界市場に参入するための支援を必要とする場合があります。
- 3 GFSIのメンバーが不足していると思われる地域で事業を展開している場合は、ローカルグループへの参加をご検討ください。



Day 1



Alec Kyriakides Independent Food Safety Consultant



Lindsay Hay PepsiCo



Caroline Easterbrook Amazon

2日目
3月30日





Anne Gerardi GFSI, The Consumer Goods Forum

Tom Wiester Starbucks Coffee Company

GFSIの 戦略的優先事項

この日の朝は、Strictly Come Dancingのインストラクターであるサム・クワイ氏による、ダンサーのスカートのフリルのようにフラメンコを装飾する手の動きであるフロレオのレッスンから始まりました。「新しい能力構築のフレームワークへの道は、チャレンジに満ちていると言おうと考えていました」と、GFSIシニア・プロジェクト・マネージャーのアン・ジェラルディ氏が言いました。「微生物学者とプロの食品監査員の集団がフラメンコを踊るのを見た今、一緒にやればすべてが可能だと思っています！」

GFSIのグローバル・マーケット・プログラムを一新するこの能力構築のフレームワークは、今日の最初の全体会議の中心的な関心事であり、GFSIの戦略的優先事項の柱の1つでした。GFSIのステアリングコミッティーの副共同議長および能力構築分科会の議長を務めるスターバックス・コーヒー・カンパニーのトム・ウィースター氏は、昨年行われたパブリック・コンサルテーションを含め、意欲的な新しい能力構築フレームワークの形成に向けて進行中の作業について紹介を行い、議論を開始しました。「私たちは、このプロセスが、この能力構築作業をペースよく進めること、そしてとりわけ、食品安全の成果を向上させることに専念するコミュニティとしてこれを進めることへの、全員の確固たるコミットメントを示していると確信しています」とウィースター氏は述べました。

このプレゼンテーションの後、チリ食品安全庁のディエゴ・バレラ氏、韓国HACCP認定サービス庁のペク・サンウ氏、GFSIシニア・プロジェクト・マネージャーのアン・ジェラルディ氏、WFPのバージニア・シーベンロック氏がパネルになり、能力構築フレームワークとその目的についてさらに議論を交わしました。2人の政府規制当局者は、異なる管轄区域で適用するためにフレームワークが適応できないといけない「国の現実」を指摘し、バージニア・シーベンロック氏は、WFPが現地で食料を調達し、それによって新興国の経済をサポートするためのフレームワークの可能性について話しました。

次のパネルでは、もうひとつの戦略的優先事項である監査員の能力の標準化について議論しました。GFSIは昨年、プロフェッショナル・レコグニション・ボディ（PRB）に対する初のベンチマーク要件を導入しました。これは、食品安全監査員、特にGFSIが承認する認証プログラムの監査員8000人のトレーニング、認証、継続的な専門能力の開発を促進することができる組織です。GFSIシニアテクニカルマネージャーのマリークロード・クエンティン氏は、この新スキームへの移行スケジュールを提示しました。まずは、このモデルを適用し、その有効性をテストするために、PRB候補と小規模な試験を行います。このプロジェクトに参加しているAuditors HUBのブルゼミスワフ・トロニナ氏、Exemplar Globalのアンドリュー・ベインズ氏、ネスレのナタサ・マティアソヴァ氏、SQFIのリアン・チュボフ氏が壇上に立ちました。マリークロード・クエンティン氏は、このモデルの強みは、「訓練を受けることと能力があることの違いを認識できること、そして、能力があることの可能性をさまざまな経験や個人のストーリーに広げていけること」であると語りました。



登壇者たち、特に監査歴12年のベテラン、プルゼミスワフ・トロニナ氏は、専門職の抱える課題に光を当てました。そして全員が、食品安全の前衛を形成する人々を認識し支援する組織の必要性について、意見が一致しました。ナタサ・マティアソヴァ氏は、「企業がこれらの専門家の能力を頼ることができれば、彼らは信頼できるパートナーとなり、『事業者の我々が専門家として盲目になっているために決して見ることでできないものに目を開かせてくれる』ようになるでしょう。」と述べました。「業界にとって、巨大な人材プールを手に入れることができるのです。」

重要ポイント



- 1 GFSIの将来の能力開発フレームワークは、世界中で活動する民間・公共セクター双方のステークホルダーから幅広く意見を聞きながら開発されています。
- 2 プロフェッショナル・レコグニション・ボディ（PRB）のための新しいGFSIベンチマーク要求事項は、GFSIエコシステムの全員に影響を与え、コンピテンスを確保し、調和を高めるでしょう。
- 3 能力を有する監査員は、技術的なトレーニングだけでなく、ソフトスキルによって定義され、PRBはそれを見極める能力を有します。



Day 2



Przemysław Tronina Auditors HUB



Andrew Baines Exemplar Global



Natasa Matyasova Nestlé



LeAnn Chuboff SQFI



Andrew Clarke Loblaw Companies Limited



Jim Clark Smrt English



Janet Cox HelloFresh International

食品安全エコシステムにおけるイノベーション

パンデミックは、リモート監査、バーチャルリアリティ、主流となっている食品のeコマースなど、以前はGFSIコンファレンスで単なる可能性として議論されていた技術の採用を促進しました。このセッションでは、民間と公共部門の両方から、この2年間の実験についての報告がありました。

Loblaw Companies Limitedのアンドリュー・クラーク氏は、パンデミック以前の食品安全トレーニングと教育全般がどのようなものであったかを思い返しながら、受講者が理解・吸収できないような読み物やプレゼンテーションについて説明しました。「システム開発やプログラム開発に多くの時間と労力を費やしながら、効果的なトレーニングの最後のステップを忘れてしまうのは非常に残念なことです」と彼は述べました。

Smrt Englishのジム・クラーク氏は、ロックダウンの際に注目された代替案として、バーチャルリアリティを利用した食品安全トレーニングを紹介しました。Smrt Englishは、斬新な英語教育法で注目され、最近ではキッチンや実験室などのバーチャル環境を使った技術トレーニングにも取り組んでいます。規制が緩和され、受講者や従業員が教室や職場に戻るようになりましたが、ジム・クラーク氏は元の状態に戻ることに對し警鐘を鳴らしました。

「親として、ビジネスマンとして、トレーナーとして、教育者として、私たちは学んだことをしっかり捉え、それとともに前進する必要があります。」

次に、パンデミックの最初の年に驚異的な成長を遂げたセクターに属する世界最大級のミールキット企業、ハローフレッシュインターナショナルのジャネット・コックス氏が登壇しました。彼女は、この若い企業で食品安全のリーダーとして、データ、テクノロジー、人間の専門知識を駆使し、自分のチームの規模拡大を確実に行わなければなりません。「イノベーションとは、単に技術に集中することではありません」と、彼女は最後に言いました。「法律やガイダンスをどのように適応させ、革新させるかを考え、人々が新しい食品電子商取引の世界に適応できるよう支援する必要があります。現時点では適応できていないのですから。」

セッションの後半では、韓国食品医薬品安全省（MFDS）のユジョン・チョイ氏とドイツ連邦消費者保護・食品安全局のピーター・ヴェント氏の2人の規制当局者が、それぞれの機関がいかに革新的な食品ビジネスと連携し、そこから学んでいるかについて議論しました。例えば、MFDSは、食品企業が国際基準に適合するためのコンサルティングサービスを提供しています。

「この支援体制が、最終的に質の高い国際的な食品貿易を生み出す好循環に貢献すると信じています」とユジョン・チョイ氏は語りました。

一方、ドイツでは、規制当局が民間企業の発展に合わせて公的規制を微調整するためにデータを利用しています。「管轄当局と民間セクターの間でデータを共有するあらゆる可能性に非常に興味があります」とピーター・ヴェント氏は言いました。そして、GFSI Government to Businessワーキンググループのパイロットを例に挙げました。そこでは、オンラインのGFSI認証登録プラットフォームが、民間保証スキームからの信頼を得るという目的において、管轄当局によってどのように評価されているかが検討されました。「より安全な食品につながる」と確信しています。」

続いて、5人の登壇者がステージに集まり（ピーター・ヴェント氏の場合はスクリーンに映し出され）、今後期待される技術革新などについて、司会者のもとでディスカッションが行われました。

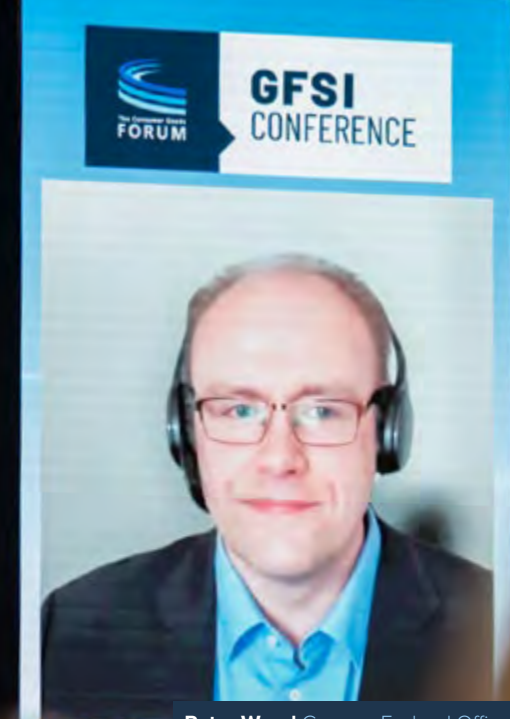
ジム・クラーク氏は、放課後の子供たちのレッスンにバーチャルリアリティが普及すること、ピーター・ヴェント氏は、柔軟な使用期限の情報を含むスマートパッケージングを、ジャネット・コックス氏は、注文を考える前に食料品が玄関先に届く世界を予想しました。「これをサポートするために、私たちは視覚情報と透明性を提供する必要があります」と、彼女は述べました。

重要ポイント

- 1 食品安全に関するスキルの向上と強化には体験学習が重要であり、このような学習を大規模に行うには仮想環境が最適な選択肢となる可能性があります。
- 2 官と民の間でデータを共有することにより、現代の食品ビジネス・モデルにより合致した規制を実現することができます。
- 3 テクノロジーは人間の要素にとって替わることはできません。企業が大きくなり、技術的に進歩すればするほど、知識や専門的な知識も相応に拡大しなければなりません。



Yujeong Choi Korean Ministry of Food and Drug Safety (MFDS)



Peter Wend German Federal Office of Consumer Protection and Food Safety



Day 2



3日目
3月31日





Jorge Juste Ortega Spanish Ministry of Agriculture, Fisheries and Food



Annelise Fenger Danish Veterinary and Food Administration

食品安全とサステナビリティの垣根を取り払う

今回のテーマである「安全で持続可能な食の実現にむけてインパクトを与える」に応えるために、食品業界は、食品の安全性と持続可能性という並存する関心事の間に時折生じる対立をうまく調整していく必要があります。

この点については、EUの規制当局が長年にわたり、厳しい食品安全基準と環境要件との調和に取り組んできたことに注目します。このセッションでは、民間企業の協力を得て、この領域で活動するEUの規制当局者2名にご登壇いただきました。

スペイン農業水産食品省のホルヘ・ジュステ・オルテガ氏は、スペインの食品産業の活力、安全性、持続可能性を支える同省の取り組みとして、家畜の抗生物質使用を管理するツール“PRESVET”や、農業部門からの温室効果ガス排出を監視・削減する取り組みなどを紹介しました。また、水はスペインではますます希少

な資源であり、特に緊急の課題であると語りました。同省は、食品安全システムと農業における持続可能な水利用のベストプラクティスについて、いくつかの調査を開始しています。

デンマーク獣医食品局のアネリス・フェンガー氏も水について議論し、リスク評価に基づき、食品生産において清潔だが飲料水ではない水の使用を拡大できるよう規制を改正する可能性について言及しました。「これは、食品の安全性を損なうことなく、同時に希少な資源をより効率的かつ慎重に使用することを可能にするものです」と、彼女は述べました。これは、2023年末に制定されるEUの持続可能な食料システムのための新しい法的枠組みと連動して議論されている多くの取り組みの中の1つです。

この法的枠組みは、持続可能な食料システムへの移行を加速・促進することを目的としていますが、「食品安全機関は、食品の安全性をその中核に据える必要があります」と、アネリス・フェンガー氏は述べました。「私の考えでは、食品安全は必ず達成しなければならないことですが、これは決して持続可能性への新しいアプローチを見つけることを排除するものではありません。」

また、ネスレのラケル・メデイロス氏は、世界最大の上場食品会社であるネスレの複雑なサプライチェーンにおけるサステナビリティの向上と廃棄物削減の取り組みについて紹介しました。例えば、ネスレは昨年、カカオの実を使ったチョコレートバーを発売しました。カカオの実は、これまでチョコレート製造工程で廃棄物として扱われていた食用製品です。「新しいアプローチやプロセスに関連する機会や課題の全容はまだ学んでいる最中ですが、安全な食品は常に優先事項であり続けます」と彼女は述べました。

CGFの環境サステナビリティ・ディレクターであるイグナシオ・ガビランは、GFSIの親組織を、安全性と持続可能性に関わる協力を促進するセクターと政府の架け橋になるものと位置付けました。彼は、プラスチック廃棄物と食品廃棄物に関するCGFの行動連合に特に注目していました。この2つの取り組みは、食品安全システムと消費者の期待の両方に対して大幅な再構築を求めるものです。

「上流と下流の消費者に影響を与えることができる機会は非常に大きく、この機会に正しいポジションを取り、正しい動きをする必要がある」

その後のモデレーターを交えたディスカッションでは、再生農業、経済的循環、植物由来の新食品の食生活がもたらす食品安全の課題など、安全性と持続可能性が重なり合う領域での具体的な問題について意見が交わされました。

ラケル・メデイロス氏は、再生農業について「私たちが考慮しなければならないことがあります。殺菌剤やマイコトキシンの削減、輪作の増加やアレルゲンの交差汚染はどのような影響を及ぼすのでしょうか。」と問いかけました。

重要ポイント

- 1 持続可能性の目標を達成するためには、食品安全規制やその他の法律の見直しが必要であり、先進的な規制機関がこのプロセスの先頭に立っている。
- 2 食品廃棄物を未然に防ぐために、企業はサプライチェーンの最も早い段階から、品質向上や副産物の見直しなどの対策を講じる必要があります。
- 3 GFSIは、食品安全と持続可能性の間の垣根を取り払うのに必要な、セクターを超えた政府間のコミュニケーションを促進するのに適した場所です。



Raquel Medeiros Nestlé

Ignacio Gavilan The Consumer Goods Forum

食品安全の周り、 未来への展望

締めくくりの全体会議では、伝統的な食品産業の中心地から遠く離れた、イケア、海上、宇宙での食品安全について議論されました。カーニバル社のメル・スキップ氏は、「迷子になりやすい3つの場所」と面白く表現しました。

メル・スキップ氏は、クルーズ会社の公衆衛生責任者として、10ブランド100隻以上の船舶の食品安全やその他の健康問題の監督を任されています。COVID-19のパンデミックは過去2年間、クルーズ業界を窮地に陥れましたが、CDC（疾病管理予防センター）の船舶衛生プログラムのような国の規制に基づき、食料安全は依然として重要な関心事となっています。

また、再利用可能な食器や最新の食器洗浄機によるプラスチックごみの削減など、サステナビリティ対策を公衆衛生プログラムに取り入れる同社の取り組みについても触れました。

同氏が「北欧の周縁」と呼ぶスウェーデンからは、デザインと同様に安全性とサステナビリティへの取り組みが特徴的なイケアのイエスパー・ユール・アンデルセン氏が登壇しました。多くの企業と同様、イケアも二酸化炭素排出量を削減し、人と地球に良い影響を与えるという使命を掲げていますが、「少数の人々のために個々の製品でサステナビリティを実現することは、イケアが目指すインパクトとは違う」と彼は言いました。「多くの人に届き、最も良い影響を与えられるように、低価格でなければならないのです。」たとえばイケアのカフェテリアでは、ベジタリアン用のミートボールの価格が従来のものと同じかそれ以下なのはそのため、植物性ボールの二酸化炭素排出量はミートボールのわずか4%にすぎません。

これらのカフェテリアと、カフェテリアに製品を供給しているすべてのベンダーは、GFSIによって実現された厳格な食品安全要件に従っています、と彼は続けました。サステナビリティと同様に、食品安全も自分達だけで行うものではありません」と彼は言いました。「私たちは連携することに大きな喜びを感じています。」

Mel Skipp Carnival Corporation

Jesper Juul Andersen IKEA

ヒッション最後の基調講演「星間未来の食べ物」では、学際的な宇宙システムの研究者でありアーティストでもあるアンジェロ・フェルミューレン氏が、人類が地球の枠を飛び出した近未来を垣間見せてくれました。「宇宙へ行けば、食べることが必要になり、おいしいものを食べたくなる。」

2013年、アンジェロ・フェルミューレン氏はNASAのプロジェクトに参加し、ハワイの火山で火星探査のシミュレーションを行い、宇宙飛行士が限られた食事や交友関係にどう対応するかを研究しました。彼はその4ヶ月の経験から、「食の儀式には何か深い人間的なものがある」と認識したと語りました。人間を、毎日大量の分子とエネルギーを必要とする機械と考えることもできますが、現実にはそううまくはいきません。」

NASAのミッション以来、彼は、欧州宇宙機関のMELiSSA (Micro-Ecological Life Support System Alternative) など、宇宙での食糧の未来を探るいくつかのプロジェクトに参加しています。バルセロナで試験的に実施されているこのプロジェクトは、人間が廃棄物として出すすべての分子を利用可能な形に戻すことを目指しており、彼はこのプロセスを「分子の持続可能性」と呼んでいます。また、オランダで活動しているような革新的な園芸家たちが、宇宙で作物を栽培する方法について宇宙科学者と話し合うサミットを開催しています。

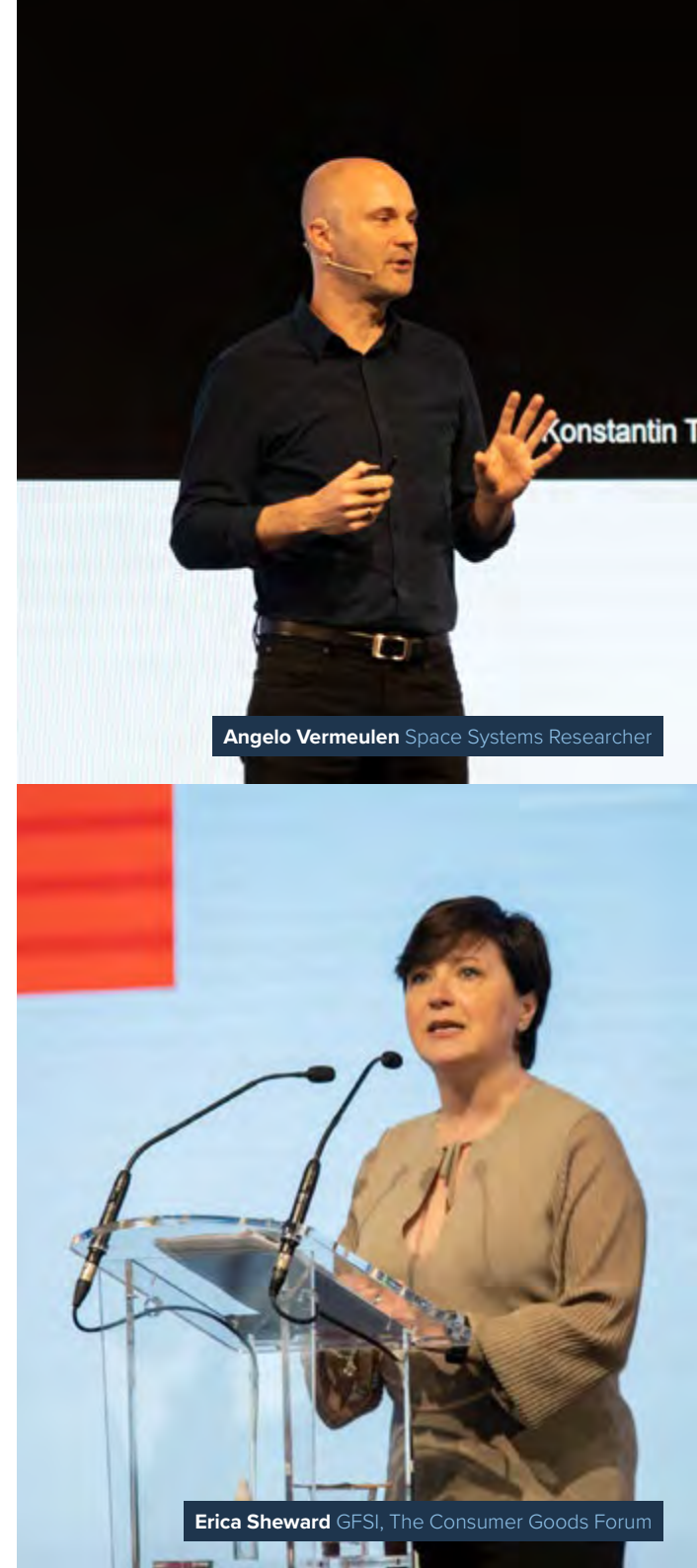
やがて宇宙には食文化が生まれ、月や火星の移住地は食品産業にとって新たな市場となるだろうと、彼は言いました。そこで、このグループ (GFSI) の名前を「惑星間食品安全イニシアチブ」に変えてみるのも面白いかもしれない、と彼は提案しました。

会議の最後の瞬間、GFSIディレクターのエリカ・シェワード氏が再び登壇し、参加者とイベントを支える人々に感謝の意を表しました。「GFSIという貴重な宝石は、最高の仕事をしました。私たちは先頭に立って、世界の食品安全コミュニティを2年ぶりに対面させ、食品安全と持続可能性に関するパワフルなアジェンダを提供しました」と、彼女は心から感慨深げに語りました。「私たちは本当に戻ってきたのです。」

重要ポイント



- 1 クルーズ船や宇宙ステーションのような限られた環境では、創造的な食品安全システムが必要とされ、それは幅広い食品産業における問題解決に情報を提供することができます。
- 2 グローバルにインパクトを与えるためには、サステナビリティのための取り組みが、できるだけ多くの場所で、多くの人々にとってアクセスしやすく、かつ手頃な価格である必要があります。
- 3 食品業界は宇宙飛行士に食事を提供するために進められているプロジェクトから学ぶことができますし、宇宙研究者も食品業界の技術革新から恩恵を受けることができます。



Angelo Vermeulen Space Systems Researcher

Erica Sheward GFSI, The Consumer Goods Forum



Day 3



他のセッション



ブレイクアウト セッション

GFSIカンファレンスでのブレイクアウトセッションは、全体会議で広く議論されるトピックを専門家が掘り下げて説明するものです。今年の4つのブレイクアウトは、1時間のブロックに分かれて開催され、GFSIの戦略的優先事項や主要な議題に焦点を当てました。ベンチマーク要求事項の更新、新しい食品安全の専門家の獲得と育成の取り組み、GFSIの科学技術諮問グループによる最初の成果物、不正行為者からブランドを守るためのGFSIの取り組みなどがトピックとして挙げられました。（後者のセッションでは、スペインの香辛料会社が最初に発見した、GFSI認証やサポートを不正に主張するウェブサイトが明らかにされました。）



スペシャル セッション

全体会議とブレイクアウトの間には、食品安全技術の最前線にいる企業が主催する特別セッションに参加することも可能でした。今年のプログラムでは、リコールへの対応、サプライチェーンのトレーサビリティ、デジタル化による透明性、環境・社会・ガバナンス（ESG）への取り組みなど、4つのセッションでトピックを取り上げました。これらの45分間のプレゼンテーションにより、参加者は具体的な行動のステップと、それを実現するために必要な情報源を得ることができました。



Tech Talks & GFSIに訊く

賑やかな展示エリアの中心に設けられたプレゼンテーションシアターでは、15分間のプレゼンテーションで、食品安全に関する重要なトピックを簡潔かつ焦点を絞って紹介しました。5つのTech Talksでは、クラウドベースのQAおよびQCシステム、AIを使用した食品リスク生産、デジタル製品パスポートなどの技術的なソリューションが紹介されました。GFSIに訊くのセッションでは、GFSIのマネージャーが、Race to the Topに沿って進む組織の次のステップについて、聴衆の質問に答えました。

Networking Opportunities

GFSIの参加者は日頃からGFSI Conferenceの最も価値ある特徴の一つにネットワークの機会を挙げていますが、2年ぶりの対面式カンファレンスでもこの特徴が大いに発揮されました。セッションの合間に設けられたネットワーキングの時間には、エキシビション・ホールが会話で盛り上がり、食品衛生のプロフェッショナルが世界中から集まった相手と顔を合わせました。毎晩、フラメンコダンサーのサム・クイと彼女のバンドによるカクテルとタパスに合わせたギターと歌で、会場は盛り上がりました。



フォトギャラリー







[See more photos](#)

パートナー



DIAMOND SPONSORS



CONFERENCE SPONSORS



PREMIUM EXHIBITORS



EXHIBITORS



MEDIA PARTNERS



ソーシャルメディア



Mariann Kirkerød @MariannKirkerød · Mar 29
Ready for 2 days with GFSI #gfsi22



Isabelle Kumar @Isabelle_kumar · Mar 28
Just one day to lift off!!! I don't worry about the safety of my 🍌🍌🍌 - and that's got a lot to do with the guys meeting here tomorrow 🙏🙏🙏 I will be moderating the 3-day @myGFSI Global Food Safety Conference @CGF_The_Forum #gfsi22



NSF International @NSF_Intl · Mar 30
We are at #GFSI22 with Lisa Spicka moderating topics that cover ESG aspects such as climate action planning, ESG audits, strategic planning and how food safety programs complement sustainability to build a resilient food supply.



European Supermarket Magazine @ESM
Conor Farrelly reports from the final day of the GFSI Conference in Barcelona, which featured presentations from @CarnivalCruise and more

esmmagazine.com/a-brands/gfsi-22/ #gfsi22 #consumer goods @CGF_The_Forum For more news



esmmagazine.com
GFSI Conference 2022 – Day Three Review | ESM Magazine
Following an insightful opening couple of days, Conor Farrelly reports from the final day of the GFSI Conference in Barcelona



3BL Media News @3BLNews · Mar 31
The GFSI Conference #gfsi22 has drawn to a close. Read the event summary from @myGFSI here: bit.ly/3uPIKXE #foodsafety #foodsafetyevent @CGF_The_Forum



3blmedia.com
Leaders From 50 Countries Convene at GFSI 2022...
The first in-person GFSI Conference in two years closed this afternoon following three days of ...



Carmen Martin Franco @carmenmartinf · Mar 31
 Nuestro compañero @ACN_Veterinario Jorge Juste participó en el "Consumer Goods Forum" #gfsi22 Sesión Plenaria: El futuro encrucijada entre la seguridad alimentaria y la sostenibilidad en las industrias agroalimentarias. 🍌🍌🍌

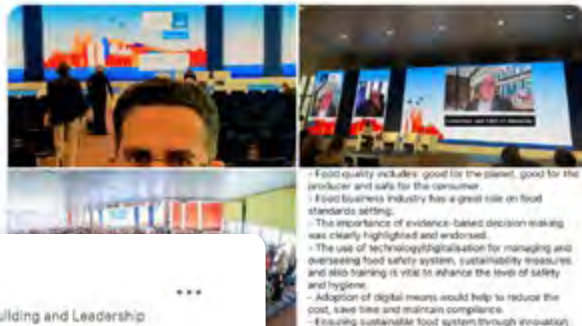


GS1 @gs1 · Mar 30
 Thanks to our moderator and panellists for the great discussion at #GFSI22 during GS1 session. You rock! @myGFSI @IntFreshProduce @IFS_Standards @GS1Germany @GS1_US



Rashed Alarfaj | راشد العرفاج @ralarfaj · Apr 1
 Pleased to attend #gfsi22 conference, 3-days of knowledge sharing and great experience with food safety professionals from around the world where issues related to #food_safety, food security and #sustainability were discussed.

Take-home messages ➕



Adrienne Blume · 3er y demás
 Editorial Director | Food Safety Magazine | Brand Building and Leadership
 6 días · 🌐

Had a great time moderating a discussion on pest control traceability with Judy Black and Ana Caroline Barbosa during a #GFSI22 Special Session on March 29 sponsored by Rollins, Inc. and Orkin Pest Control, with special guest The Coca-Cola Company. Thanks to Global Food Safety Initiative for the opportunity to participate and attend in beautiful Barcelona!

#foodsafety #pestcontrol #GFSI





NSF International @NSF_Intl · Mar 30

What an amazing panel session we had today (How Sustainability Can Build Resilience into the Food Supply Chain). Be sure to stop by and see us at [#GFSI22](#)!



GFSI @myGFSI · Mar 31

You should know this already, but [@mygfsi](#) is committed to supporting the [@UN](#) agenda and the [#SDGs](#) and [#WorldFoodSafetyDay](#). Our [#gfsi22](#) delegates definitely know it! [mygfsi.com/press_releases...](#) [@FAOWHOcodex](#) [@WFP](#) [@FAOSDGs](#)

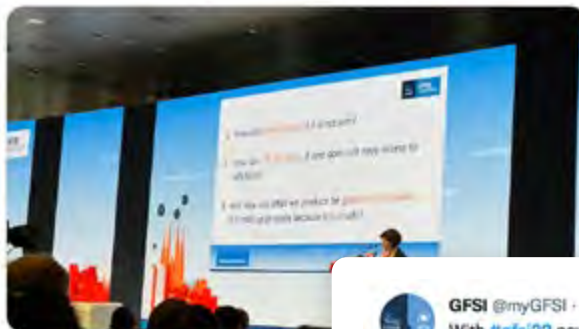


2 9



Garry Mournian @GarryFSS · Mar 31

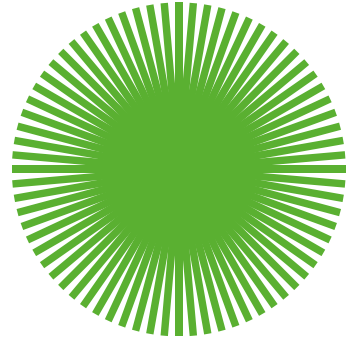
Interesting plenary this morning at [#gfsi22](#) talking about breaking silos between food safety and sustainability. Lots of relevant presentations from [@Nestle](#) [@CGF_The_Forum](#) Danish and Spanish governments around risk assessments and other legitimate factors we need to consider.



GFSI @myGFSI · 53m

With [#gfsi22](#) now over, it's time to give a big thank you to the [@myGFSI](#) steering committee. They do a fantastic job helping to guide our work and drive the strategic ambitions of the Coalition of Action on [#FoodSafety](#). [ow.ly/uQLP5OUzEk](#)





PROUD
PARTNER OF
GFSI

FOOD SAFETY PARTNERS For People, Planet & Business Health

GFSI 2022 was an exciting opportunity to re-connect in person to further the mission of safe, sustainable food through informative sessions and inspiring innovations. Helping customers sustainably produce safe, high-quality food while optimizing resources and meeting consumer demands is at the heart of Ecolab's purpose - and we look forward to continuing to collaborate on this commitment.

Visit [ECOLAB.com/GFSI](https://www.ecolab.com/GFSI) to learn how we collaborate with our partners.

ECOLAB®



The Global Language of Business

GS1 standards, solutions and services support safe, sustainable food

GS1 standards improve efficiency, traceability and interoperability

by uniquely identifying, accurately capturing and automatically sharing vital information about products and locations.





FROM ALL OF US AT NSF, THANK YOU

**Thank you to everyone who dropped
by at our stand at the GFSI Conference.**

And thank you for attending our panel discussion

"How Sustainability can Build Resilience into the Food Supply Chain"

Presented by Lisa Spicka, Director Sustainability Consulting

Our food experts will continue to offer their support as you manage food safety and deliver quality

- > On your farms
- > In your factories
- > On the road
- > And in your stores and restaurants



Want to know more?

Download our whitepaper

"Building a Food Supply Chain Sustainability Program"

CLICK HERE





See you next year!

USA, Spring 2023

Follow Our Story on

